

地域の活性化は地域から  
交流を通じて地域を未来へ

NPO法人まちづくりのむきの会  
西出 健一 さん

また県内外から訪れた方の視点で、地元の人にとって地元の良さを再認識するきっかけになればと思います。多くの人の交流を通じて、私たちの活動が若い人に引き継がれ、持続的なまちづくりに繋がっていく、そのような未来を思い描いています。

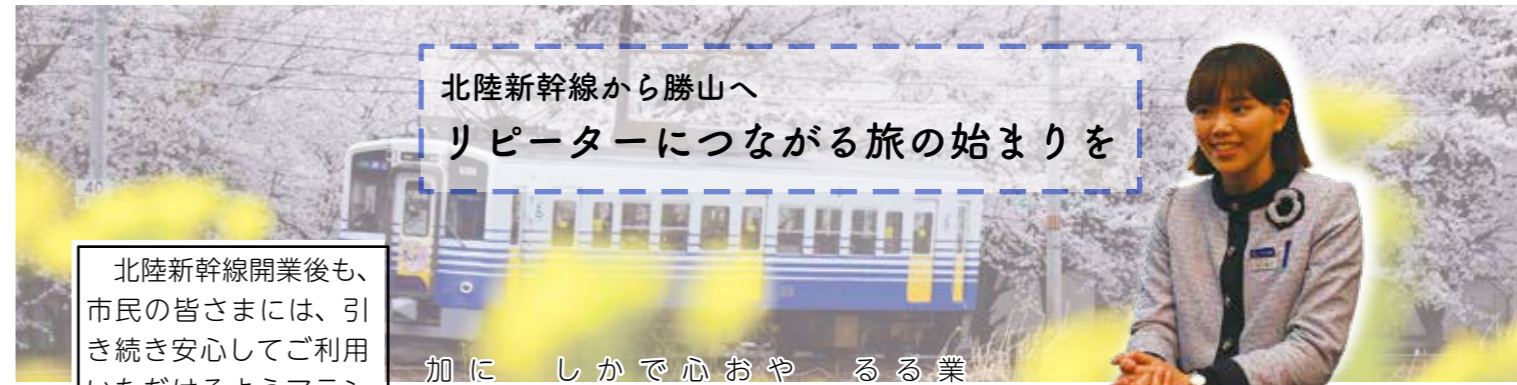
まちづくりのむきの会は、エゴマを中心としたまちづくりからのむき風の郷を活用して、地元農産物などの販売や住民の交流、地域情報の発信などを行っています。私たちが一生懸命取り組んでいるまちづくりや大切に守ってきた自然や文化は、きつと旅行者に魅力的にうつると思います。新しい観光のコンテンツとして、多くの人に勝山のリアルを体験していただきたいと考えています。



**野菜や手作りパンはいかが**  
野向町コミュニティセンターでは初めての試みとして、のむき風の郷が休業する期間、新鮮な野菜や手作りパン、エゴマ油を販売しています。  
販売日時▶12月～3月まで  
平日9:00～16:00  
※パンの販売は水曜日のみ

# 3 大交流時代を地域づくりへ

今、幕を開けようとしている「大交流時代」。このチャンスをどのように地域づくりに生かしていくか、観光やまちづくり活動に携わる方々にお話を伺いました。



北陸新幹線から勝山へ  
リピーターにつながる旅の始まりを

北陸新幹線開業後も、市民の皆さまには、引き続き安心してご利用いただけるようアテンドしてまいります。

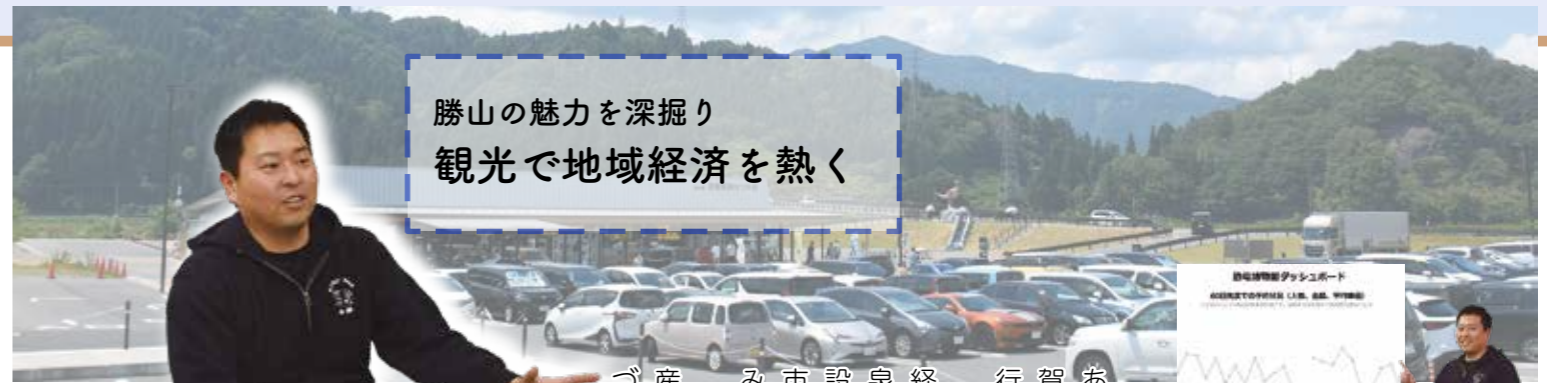


北陸新幹線が福井・敦賀まで開業すると、えちぜん鉄道を利用するお客様がこれまで以上に多くなると予想されます。  
車内では、沿線市町の観光施設や駅を降りてからの交通手段などお客様に寄り添った丁寧な対応を心がけていますが、混雑した場合でも「えちぜん鉄道を利用して良かった」と思ってもらえるよう対応していきたいと考えています。  
その結果、また福井県や勝山市に訪れたいと思うリピーターの増加につながればと思っています。

えちぜん鉄道(株)  
アテンダント  
蒲生 真夕さん

**大人気！恐竜列車**

えちぜん鉄道が昨年運行した恐竜列車は、全便満席になるほど人気。今年も3月から運行を予定し、多くのお客様の利用が見込まれる。



勝山の魅力を深掘り  
観光で地域経済を熱く

勝山市観光まちづくり(株) (勝山DMO)  
坪内 正也 さん

地元事業者や市民の皆さん。一緒に勝山の経済圏を熱くしていきます。

勝山市には、県立恐竜博物館があるため、北陸新幹線の福井・敦賀開業後は、間違いなく多くの旅行者が訪れます。  
このチャンスを生かして、地域経済を活性化させるためにも、平泉寺や越前大仏など市内の観光施設への誘客、滞在時間の延長など、市内での観光消費額を増やす仕組みを作りたいと考えています。  
また宿泊や飲食など従来の観光産業に加え、農業や各地区のまちづくり活動とも連携し、勝山の自然や文化といった魅力を観光のコンテンツに昇華する「深掘り」にも取り組んでいきます。

**福井県観光データ分析システム(FTAS)**

県立恐竜博物館の予約状況など観光客動向データを確認することができます。データを活用して、より戦略的な商品開発やプロモーション活動と一緒に取り組みましょう。



**新幹線楽しみ！**

「北陸新幹線福井開業カウントダウン缶バッジ」で加藤優月さん(成器南小6 写真右)が大賞、笠川結愛さん(北郷小6 写真左)が準賞に輝きました。